

加藤嘉明・ 美土里

遺作展

令和
2年 9.12 土 ▶ 11.8 日

開館時間 10時～18時

休館日：9/14 月・23 木・28 月・10/5 月・12 月・19 月・26 月・11/2 日



釉彩紋花瓶 加藤嘉明 作



手付鉢 加藤美土里 作

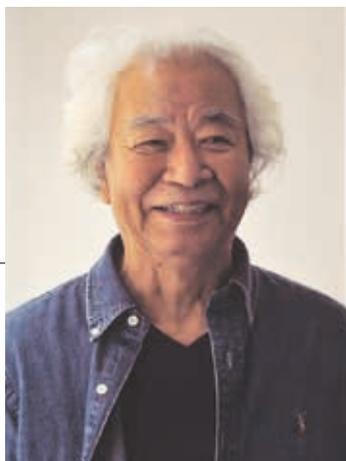


半田市立博物館 0569-23-7173

愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1

加藤 嘉明

Kato Yoshiaki



1934年(昭和9)～
2019年(令和元)

- 1934年(昭和9) 2月、瀬戸市に生まれる
岐阜県土岐市小谷陶芸研究所にて陶技を磨く
- 1956年(昭和31) 亀岡製陶からデザイン指導を頼まれ常滑にくる
- 1958年(昭和33) 美土里と結婚する
- 1966年(昭和41) 日本ニュークラフト展でグランプリ受賞
- 1967年(昭和42) 朝日陶芸展で知事賞受賞
- 1972年(昭和47) ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレで国際名誉大賞受賞
- 1974年(昭和49) 日本ニュークラフト展の選考委員に就任
- 1975年(昭和50) 朝日陶芸展の運営委員に就任
日本クラフトデザイン協会の理事に就任
- 1976年(昭和51) 知多郡美浜町に「明窯」を開窯
- 1978年(昭和53) ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレで銀賞受賞
- 1984年(昭和59) 長三賞陶芸展に招待出品 以後2009年まで
長三賞陶芸展で長三賞を3回受賞
長三賞陶芸展で長三賞を2回受賞
中日国際陶芸展で外務大臣賞を受賞・入選2回
- 1968年～2017年 名古屋丸栄にて個展を開催
- 2019年(令和元) 8月5日逝去、享年87歳

加藤 美土里

Kato Midori



1934年(昭和9)～
2019年(令和元)

- 1934年(昭和9) 5月、東京中野に生まれる
疎開で常滑にくる
- 1958年(昭和33) 加藤嘉明と結婚する
- 1966年(昭和41) 日本ニュークラフト展で入選
- 1967年(昭和42) 日本陶磁器デザインコンペで入選
- 1968年(昭和43) 日本陶磁器デザインコンクールで入選
- 1969年(昭和44) 日本陶磁器デザインコンペで知事賞受賞
- 1972年(昭和47) ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレで国際名誉大賞受賞
- 1974年(昭和49) 第2回中日国際陶芸展で入選(共同制作)
- 1975年(昭和50) 長三賞陶芸展で長三賞受賞(共同制作)
- 1976年(昭和51) 中日国際陶芸展で外務大臣賞を受賞(共同制作)
- 1978年(昭和53) ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレで銀賞受賞
横浜ヤマハギャラリーで夫妻展を開催
名古屋丸栄で個展を開催
- 1979年(昭和54) 東京青花堂ギャラリーで夫妻展を開催
- 1981年(昭和56) 横浜ギャラリー「卓」で個展を開催
- 1978年～2018年 名古屋丸栄にて個展を開催
- 2019年(令和元) 10月25日逝去、享年87歳



釉彩紋花器



釉彩紋大皿



マイカップ



バラ付花瓶

加藤嘉明は、1934年(昭和9)2月に瀬戸市に生まれました。美土里も同年5月に東京中野に生まれました。嘉明は、戦後満州から帰国し瀬戸市で生活した後、岐阜県土岐市の小谷陶芸研究所で陶芸の研究を2年間し、その後京都で勉強しました。1956年(昭和31)、22歳の時に常滑の亀岡製陶からデザイン指導を頼まれ、常滑にきました。この常滑の地で、戦争中東京から疎開してきて、そのまま常滑で生活していた美土里と出会い1958年(昭和33)に結婚しました。嘉明は、結婚後5年間のサラリーマン生活を経て、1962年(昭和37)に独立、常滑市明和町に窯をつくりました。美土里は、結婚後嘉明の作業を手伝ううちに、自分も作品をつくるようになりました。嘉明・美土里二人とも常滑で多くの作品を発表しながら、1976年(昭和51)知多郡美浜町に「明窯」を開窯しました。その後も精力的に作品

を発表しながら、1989年(平成元)には美浜町に居を移し、作陶に取り組んでいました。加藤嘉明といえば「鮫釉」といわれますが、嘉明は「ある時、僕の作風『鮫釉』のもとになる陶片を見つけ研究を続けて行く内に、知多半島に原料を発見した。焼べはだれでもやっているし、志野や織部も色々やったが、自分らしい物をと鮫釉と取り組んで35年に、これからもずーっと鮫釉」と語っています。加藤美土里の作品は、名前のように緑色を基調とし、繊細で華やかな作品が多くつくられています。最近では二人とも、個展を中心に作品を発表していましたが、2019年(令和元)8月5日に嘉明が、10月25日に美土里が永眠しました。

本展では、加藤嘉明・美土里夫妻の代表作とともに、小作品を交えた84点(嘉明32点・美土里52点)を展示します。二人の生涯と創作についてご覧ください。



半田市立博物館

〒475-0928 愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1 TEL.0569-23-7173